

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名  
431 高付加価値推進事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	1	地域を支える既存産業の振興
施策	1	地域を支える既存産業の振興
取組方針	2	歴史と伝統ある産業の持続的な発展をめざすためのブランド化

事業種別	継続		
事業期間	H25 ~		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	商工振興課	清水 出	435-1233
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他	○		
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		商工費	
	目		通商産業振興費	
	大事業		通商産業振興事業	
中事業		高付加価値推進事業		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 各種見本市、展示会等に参加し、本市主要物産品の優秀性のPR及び販路拡張に努め、地域産業の活性化を図る。		全体事業概要 ・伝統的工芸品産業振興協会関係負担金 賛助会費 伝統工芸品月間事業負担金 伝統的工芸品展WAZA出展負担金 ・伝統的工芸品産業振興協会主催「伝統的工芸品展WAZA」へ紀州箆笥出展 ・和歌山家具組合連合会との共催により和歌山優良家具見本市を近鉄百貨店で開催(平成28年度で終了) ・紀州桐箆笥協同組合が行う需要開拓、新製品開発等の事業に対し、補助金を交付			
	事業内容	平成27年度 ・和歌山家具組合連合会との共催により和歌山優良家具見本市を開催 ・紀州桐箆笥協同組合が行う需要開拓、新製品開発等の事業に対し、補助金を交付 ・一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賛助会費及び協会が行う需要開拓事業に対し、経費の一部を負担	平成28年度 ・和歌山家具組合連合会との共催により和歌山優良家具見本市を開催 ・紀州桐箆笥協同組合が行う需要開拓、新製品開発等の事業に対し、補助金を交付 ・一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賛助会費及び協会が行う需要開拓事業に対し、経費の一部を負担	平成29年度 ・紀州桐箆笥協同組合が行う需要開拓、新製品開発等の事業に対し、補助金を交付 ・一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賛助会費及び協会が行う需要開拓事業に対し、経費の一部を負担	平成30年度 ・紀州桐箆笥協同組合が行う需要開拓、新製品開発等の事業に対し、補助金を交付 ・一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賛助会費及び協会が行う需要開拓事業に対し、経費の一部を負担	平成31年度 ・紀州桐箆笥協同組合が行う需要開拓、新製品開発等の事業に対し、補助金を交付 ・一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賛助会費及び協会が行う需要開拓事業に対し、経費の一部を負担

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,425	1,370	1,420	1,412	985	888	941		941	
伸び率(%)	-	-	▲0.4%	3.1%	▲30.6%	▲37.1%	▲4.5%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	3,325	4,020	4,020	4,039	3,030	3,168	3,917	3,917	
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	3,325	4,020	4,020	4,039	3,030	3,168	3,917	3,917	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	1,425	1,370	1,420	1,412	985	888	941		941	
所要人数(人)	正規職員	0.45	0.53	0.53	0.51	0.38	0.4	0.49	0.49	
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	
主な予算内訳	管外出張旅費101千円 負担金補助及び交付金840千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
各種展示会開催・出展数	事業	目標値	4	4	5	4	4
		実績値	3	4	2		
		達成度(%)	75.0%	100.0%	40.0%		
粗付加価値額(工業統計調査)	億円	目標値	5,747	5,805	5,863	5,922	5,981
		実績値					
		達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>各種展示会や見本市に出展することで、県内外の消費者やバイヤーに当市地場産品の優秀性をPRすることができた。今後も継続して開催し、引き続き付加価値を高めていく必要がある。 また、伝統的工芸品月間事業（全国大会）に出席し、全国の職人と情報交換できた。</p>
見直し・改善内容	<p>引き続き付加価値を高めていくため、特に県外の展示会や新たな展示会への出展を促し、当市地場産品をPRし販路拡張に努めていく。 また、研修会を開催し後継者育成や人材育成を促していく。 和歌山家具連合会と共催していた和歌山家具優良見本市について、平成28年度で終了し、平成29年度から地場産業振興事業において、展示会又は見本市に出展するための経費の一部を補助する予算に持ち替えた。</p>